

## Chapter 2 | まずは歌わせてみよう

しかし、このままではカラオケの音量が大き過ぎて歌  
があまり聴こえませんね。ここで大事なのが「ミックス」と  
いう考えです。ミックスは音と音のバランスを整える技術  
で、本当はそれだけで1冊の本が必要なくらい曲づくりで  
大事なのですが、いまは難しく考えずに「歌」と「カラオケ」  
の音量バランスを整えてみましょう。「表示」→「ミキサー」  
(またはファンクションキーのF3)でミキサーを立ち上げま  
しょう(Fig52)。

カラオケの音量が大きいため、フェーダー(数値が書か  
れているツマミのところ)を「-10.0」くらいまで下げま  
しょう。ボーカルももう少し大きくしたいので「3.0」くら  
いまで上げて良いでしょう。これで先ほどより聴きやすくな

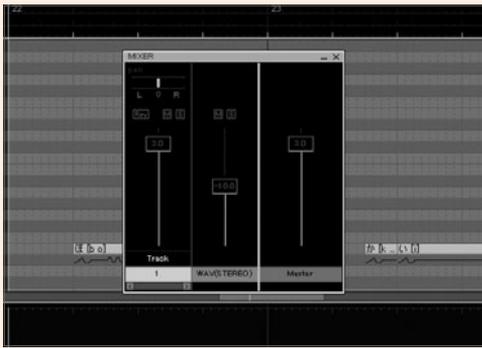


Fig52 「ミキサー」のウィンドウ

たはずです。カラオケが不必要なときは「M」のボタンをク  
リックしてミュートします。「S」はそのトラックだけを再生  
するソロという意味のボタンです。

次にBメロを入力しますが、ボカロの体験版「Tiny  
VOCALOID3 Editor」では17小節分しか音符を入力で  
きません。ですので一旦保存し、新規ファイルを立ち上げ  
ましょう。そして先ほどと同じ声質にするために変更した  
GENの値を書きとめ、再設定しておきましょう。

### Bメロ

コード：A-B-C#m-G#m-A-B-C#m-E

(IV-V-VIm-III m-IV-V-VIm-I)

Aメロで操作に大体慣れたと思うので、Bメロはスイ  
スイ進むはずですが、8小節なので、打ち込み量はAメロの半  
分です。Fig53, 54を参考に打ち込んでみてください。こ  
こではVEL(ベロシティ)の解説をするために2番の歌詞を取  
り上げます。ポイントは「希望の羽」の「はね」の部分です。  
歌い方が「はんね」のように詰まって変に聴こえたので、  
これを直します。音は、子音と母音で成り立っています。例  
えば「か(ka)」の場合、子音=k、母音=aという具合です。  
VELの値を低くすると、「k」の発音時間が伸びます。極端  
に書くと「k〜〜a」という感じでしょうか。「はんね」と聴こ  
えたのは、「ね(ne)」の子音部分を多く取り過ぎたためだと

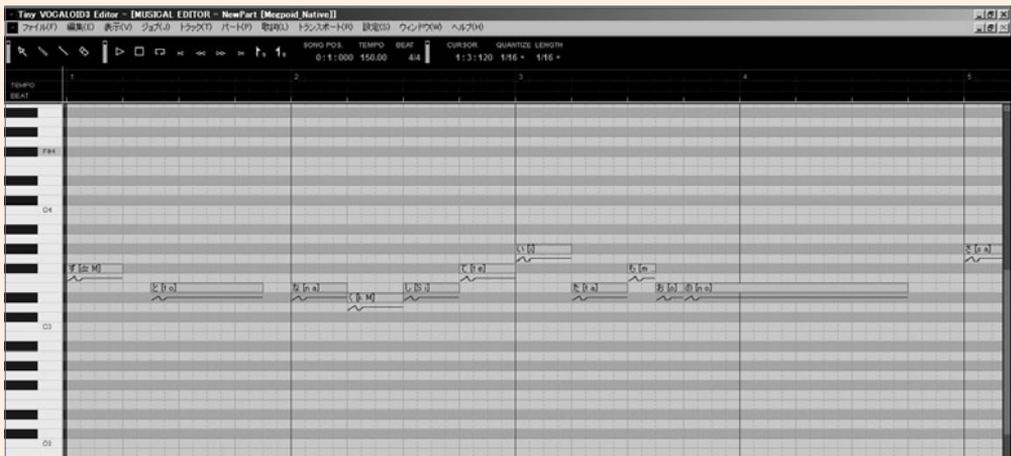


Fig53 Bメロの1~4小節